

山  
ぎ  
こ  
ろ

大  
滝  
せ  
せ  
ら  
ぎ

里  
ぎ  
こ  
ろ

は  
た  
お  
と  
秩  
父

秩  
父  
市

地  
域  
お  
こ  
し  
協  
力  
隊  
た  
よ  
り

3  
月  
号

No.  
40



長  
瀧  
火  
祭  
り

「紫燈大護摩・火度修行」  
護摩の靈火により己の欲や  
けがれを炊いて清め、  
不動明王に慈悲と加護を  
いただく秘宝とも  
いわれています。

研修旅行記「ブランド」という言葉の意味

谷口

就任からもうすぐ半年、私もずうつとブラブラしていたわけではないのですが、なかなか動きが見えないかと思えます。ので、今回は研修をしてきた話の内容を...

先日、東京へ「地域資源を活用した地域ブランドづくりを学ぶ」という研修を帯に行ってきました。

そこで、普段何気なく使っている言葉「イベント」という、漠然とわがわがいても、イザ説明しようとする、業界言葉にならないような、そういうものをまず自分の中で明確にすること。それが大事だということも学びました。

「イベントとは」

英語の意味は、事故・事件・出来事・催し物。

これらは全て違うものようで、ある要素が一本筋として通っています。

それは、「コントロールされているかどうか」 私たちがイベントをやろうと企画し実行するにします。その中で、注意を怠ったり

予防策を立てなかったりして機械が故障して何もできなくなったりすることがあります。それは「事故」。例えば、盗難や暴力があったりすれば、それは「事件」。イベントを始めたはいいが、明確な目標か目的がなければ、それはただの「出来事」。

そして、きちんと全てが管理され、目的をもって行われ、犯罪が起きず、想定外のこと起きてもしつかり対応できること。そうして初めて、それを「催し物」と呼べるのだ、というのがです。

「ブランドとは」

牛に所有者の刻印を入れていた「BURNEO」

いわゆる「焼印」を示していたもので、そこから、

識別(銘柄)、品質を示すもの(商標)、そしてそれを信頼してもらうこと、という風に変化していった

というのがです。

それは有名かどうかというだけでなく、何などとは

ならないもの。それではなければならぬもの。つまり

必要不可欠なもの。それが「ブランド」だ。

私は元来、「ブランド」という言葉が嫌いでした。

それは、いわゆる高級ファッションなど、自分には

必要としないもの。だからなのかな、と。

日本には古来からそういう概念のもの「のれん」

「家紋」など、とても重要でかえりがないもの

がありました。使う言葉がカタカナになっても、

意味や重宝に変わりなく、いつの時代にも人が

もっていたものなのだから、と感じました。

他にも、もっとも、自分の中でちゃんと確固たるもの

たしななければならぬ物事をたくさん学んだ

のですが、徐々に発表していきなさいな、と

思います。

ご意見、ご要望、お手伝い、などございましたら、

株父市役所大滝総合支所地域振興課 谷口まで！

TEL. 0494-55-0862

# 秩父銘仙PR動画

できました!!!

前から考えていた、「秩父銘仙をもっと身近に着られるものとして知ってほしい」という想いを込めてPR動画を作ってもいいなと思った。アニメーションで動く着物を着た女の子たちほっともかわいく、スクーターに乗ったり、水切りをしたりディスプレイで踊ったりしています。

秩父銘仙が日常風景に溶け込む着物として、いろんな人に愛されまますように。



# 里ごころ

# はたおと秩父

# 市ちちぶめいせん マルシエ

「観光で来てくれた人、まちなかにお茶しに来た地元の人が、秩父銘仙を見かけられて、今も作ってることを知ってくれて、好きになっけてくれる。そして見やすいまちなかマツpoleという様々な欲望を込めて、ちちぶめいせんマルシエをスタートさせました。秩父で定期的に絹市が開かれていたことから、秩父は毎日が絹市!として秩父銘仙取扱い店舗に市フラッグを掲げてもらっています。皆様もまちなかを歩きなから、黄色の市フラッグを探してみてくださいね♪

日々の活動は Facebookページにて!



お問い合わせ  
秩父市役所 商工課  
秩父市地域おこし協力隊

佐俣 葉津子

TEL  
0494-2515208  
MAIL  
Syokko@city.  
chichibu-ni.gu.jp



# 秩父歳時記 二月

春の予感 春の魁

山田の春まつり

例年三月の第二日曜日に恒持神社の例大祭として春を告げるお祭り、山田の春まつりが行われます。秩父地方で今年最初の山車(だし)が出るお祭りとのこと。後述の神明社春祭りと併せて行ってみたい！

神明社春祭り

同じく例年三月の第二日曜日に行われる神明社 祭り。歌舞伎的手法や伊勢乃神楽の所作も取り入れられている。昨年、惜しまれつつ最後の奉奏がされた三峯神社のお神楽を想いつつ、各地の祭事を目に焼きつけておきたい。

季節の花くしだれ桜・ガゼンソウ

三月下旬ともなると、ひと足早く春の訪れ、清雲寺のしだれ桜が見られるかもしれません。私は桜の中でも降り注ぐように咲くしだれ桜が一番好きです。開花情報をとみつつ堪能に行きたいと思います。

また、ガゼンソウという珍しい花の

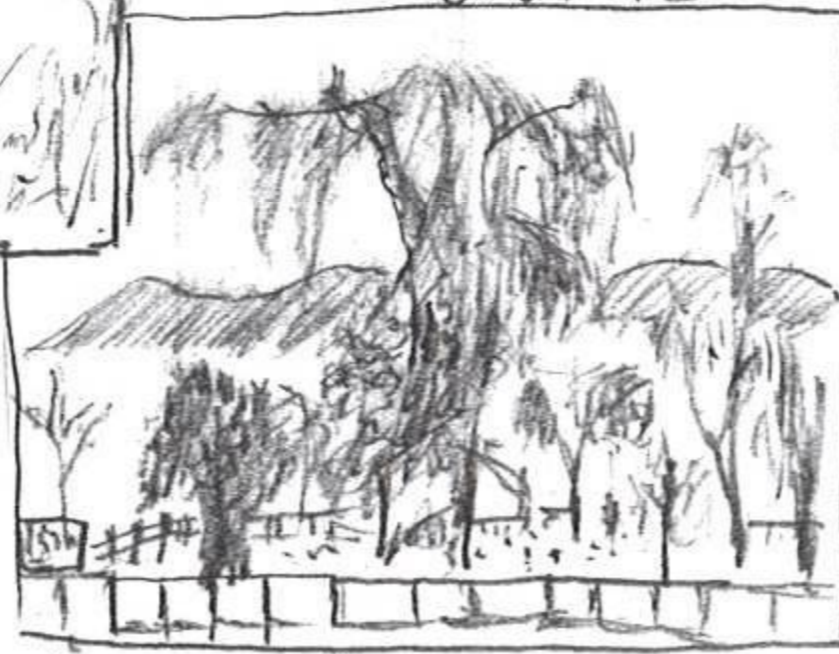
お話を伺いました。埼玉県では危急種とされている希少な植物でその名の通りの姿見の珍しさ、えくに開花する際に25℃にまで発熱する特性、

横瀬町芦ヶ久保山地区に咲いているそうなのですが、詳しい場所はあからず、実際に行って確かめてきます。

ガゼンソウ



しだれ桜



## 編集後記

昨月は、一言通り三峯神社で節分行事「こも」ともさま」に参加させて頂きました。「豆まきにも間に合ひ」「福は内、福は内、鬼は外、鬼は外」こもともさま」のかけぐえを聞けました。しかし流石の上、とても寒かったです。笑加しようと思われる方は、あったかい格好と滑りにくい靴のこもを。

こうして、歳時記のための取材をこらして、歴史の中で連続と続けられた行事が、叙系が、様々な要因から存続の危機に陥ったり、なくなってしまう、たりしていることを知りました。

また、自分がどこまで出来るかわかりませんが、ひとつひとつ、みんなが参加出来るように、思い出して新しいつながりができるように、何かを成せればいいな、やらなれたら、と思いました。ご近所ですの、普賢神社さんで節分なび出来れば、がんばります！